

『減災対策』の取り組み 事例紹介

神戸市、芦屋市、伊丹市、篠山市

減災対策

ハザードマップによる 危険箇所の周知の取り組み

神戸市 建設局防災部防災課
危機管理室

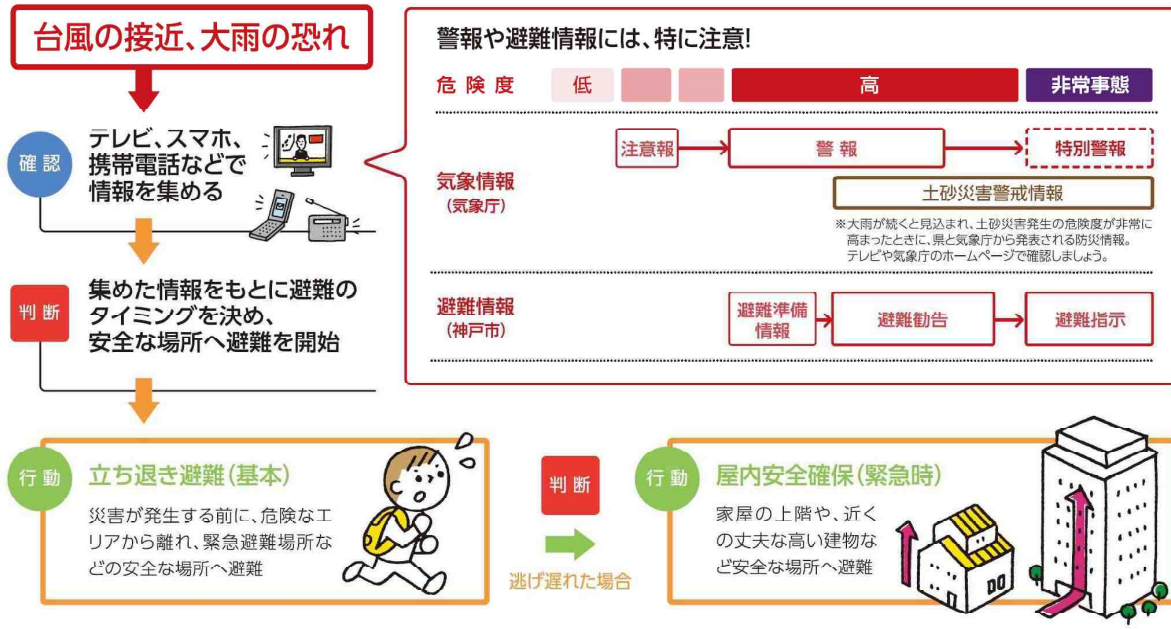
1. ぐらしの防災ガイドの全戸配布

- 毎年6月上旬の梅雨時期前に市内全世帯（約72万世帯）に配布
- 避難行動に関する基礎知識やハザードマップなどの情報を掲載



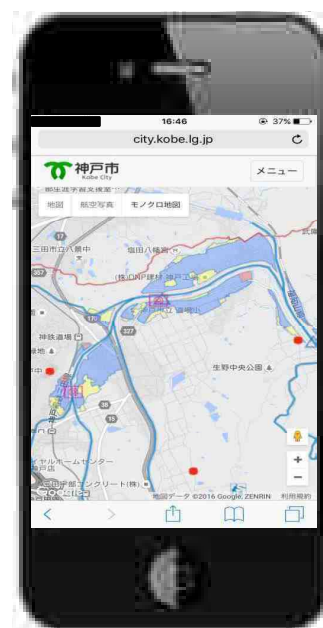
③避難の流れを図で解説

台風・大雨のとき



2. スマホでも確認できる Web版ハザードマップの作成

- GPS機能を用いて現在地の危険箇所を簡単に確認できる
- 便利なGoogleMapを使用
- 地図の拡大縮小も可能
- 航空写真でも確認できるので、危険箇所がわかりやすい
- 今後、災害弱者（外国人）への対応として、多言語化を行う

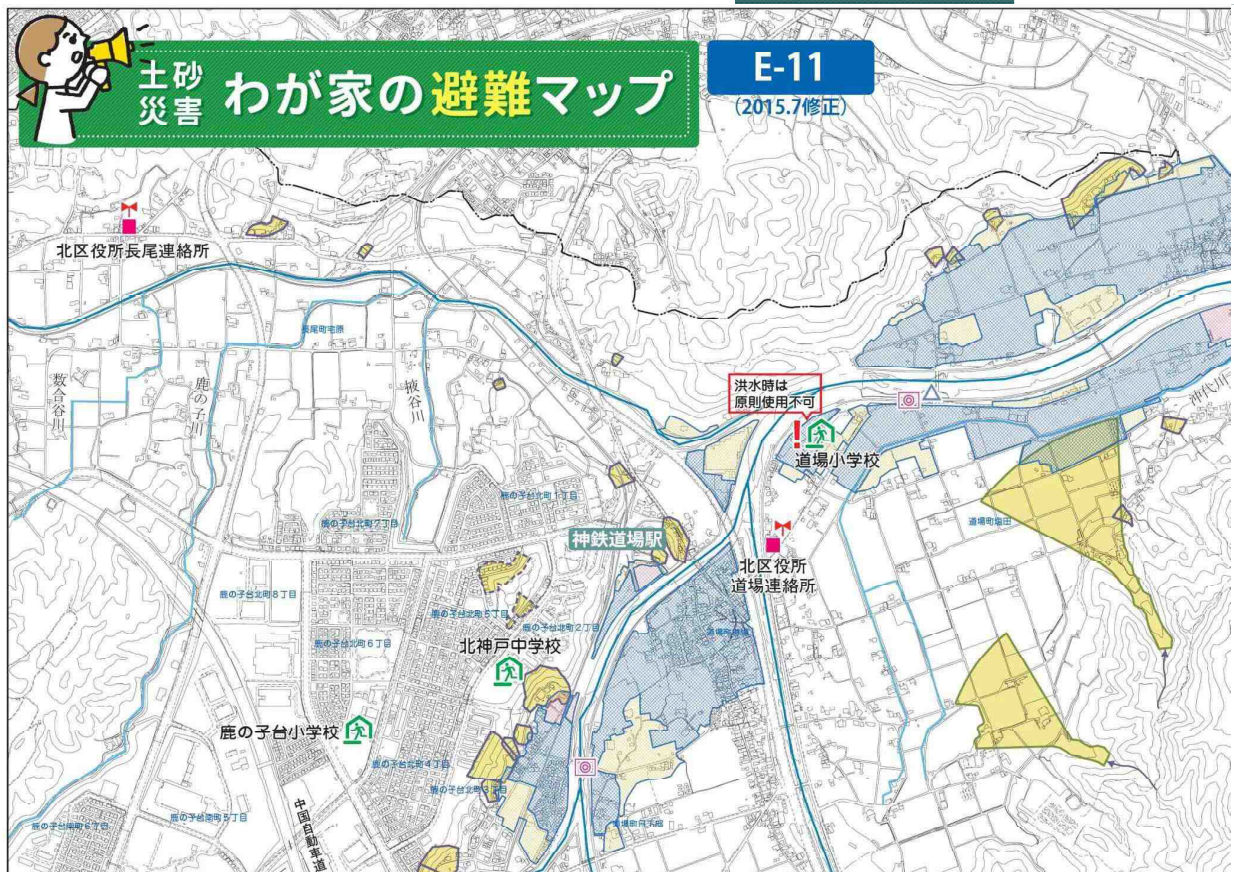


3. 「土砂災害 わが家の避難マップ」の配布

平成27年6月に、土砂災害警戒区域や避難先を確認し、自ら避難ルートを書き入れることができるマップを配布

- ・配布数 : 54万世帯
- ・配布エリア: 土砂災害警戒区域
及びその周辺地域

- ①土砂災害警戒区域や緊急避難場所などを分かりやすく記載
- ②自宅周辺の状況をより詳細に確認できるように配布地域ごとに地図を大きく表示





ご清聴ありがとうございました